

# 7人が 登壇 一般質問

金井 佐則 議員

## 遊休農地をどうする



**質問** 今、榛東村も耕作放棄地・遊休農地が増え担い手農業者の高齢化や、後継者不足の問題も絡んでいるが、現在どれ位の数字になり、この遊休農地の問題を村長はどう思われ、それに対する施策はあるのか。

**産業振興課長** 村全体の土地は田が194ヘクタール・畑が519ヘクタール。遊休農地の農業委員会調査では、

水田6ヘクタール・畑23ヘクタールになり、トータルで4・6%の数字となつて、この遊休農地には農業委員会から管理改善依頼書や農地銀行の登録届け等を送付し、その意向を伺う形で耕作者に通知している。

**村長** 認定農業者の方々に土地の斡旋ができる施策で、農地銀行に登録してもらい、次の人達に認定農業者等に

斡旋して行く手立てが必要ではないか。村外の人とか農業者以外の新規算入の人の育成を考えて行かなければと思つている。

## 産地間競争に村の支援が必要だが

**質問** 村でも「下仁田ネギ」のブランド化・産地化を進めているようだが、県のGブランドは出荷量約1億円といわれている。榛東の場合は下仁田ネギの出荷が2・3月頃まで可能で、37軒のネギ農家が高齢の方も多く本当に産地間競争に



▶下仁田ネギの作業は春まで  
続く

勝つために、産地化するには出荷場にトラックで土つきのまま運び込めば、そこで仕分け・選別・箱詰めまでできるようにしなければ、本当の産地化はできないが。

**村長** 下仁田ネギの場合は種苗生産ができる、その後が大分楽になるといふことを生産組合の人から聞いている。生産農家にそれができるよう21年度予算でこのことの提案を考えている。また箱詰めまでして出荷できる集出荷場については、もう少し検討したい。



J Aのネギ集荷所

## 商品券に村の補助は有効か

**質問** 村の商業振興で商品券発行に村の補助金を続けるか。また増額の考えとか関連する村の振興に対しての対策はあるか。

**村長** 商工会の企画で11年になる。商業振興・景気対策を考え当面続けたいと思つているが、増額についてはその意思はない。一番のネックは後継者問題につきると思う。

## 創造の森が宝の持ち腐れでいる

**質問** 創造の森の空間に開発を考え村民の憩える本当の公園として、今のふるさと公園・親水公園をこの森に集めて規模拡大を図つてはどうか。

**村長** 森林浴のできる場所の整備が大事でその検討をしている。ただ、広域のゴミ終末処理で環境基準に沿つたガス濃度等の調査・監視が続けられていて、再利用はまだ難しい。



あまり利用されない空間（創造の森）

## 不妊治療助成事業の拡大を



**質問** 現在行っている特定不妊治療費の助成申請は本人が保健相談センターに行くことになっているが、そこへ行かなくても申請できる方法はないか。また現行制度で二人目以降の不妊治療を受ける場合も対象となるか。  
**保健福祉課長** 書類や本人確認は大切な部分だが、別な方法も可能か研究させてもらいたい。県は第2子以降も対象にしているが、村は第1子のみで、助成の希望など調査し検討したい。

**質問** せつかく村で行うのなら受皿を広げてもらいたい。女性は通院という負担から仕事を休業または退職される場合もあつて、経済的そして身体的・精神的にも大きな負担がかかる。治療に取り組む夫婦の負担軽減のため、初回の治療時等の手厚い費用負担や所得制限の緩和等、助成制度拡大の考えはあるか。  
**村長** 所得制限また第一回第二回目を手厚くできないか、についても前向きに検討したい。

## 少子化対策に不妊治療の支援を

**質問** 不妊治療の人工受精や体外受精・顕微受精などの治療は健康保険が適用されず自費診療で行われている。そのうち体外受精・顕微受精に関しては、県や村の助成制度対象となる特定不妊治療だが、人工受精は一般不妊治療であり保険適用外であっても現在は助成を受けられない。新たに一般不妊治療の助成制度創設を考へてもらえないか。また、不妊治療の入り口の段階から支援することの意味は大変大きいと考え、不妊検査に対しても助成に加えてもらえないか。  
**村長** 少子化対策からも不妊治療費の助成は意義あるものと考えている。治療費の問題等も含めて調査するよう担当課長に指示し検査についても一緒に検討したい。

## 産前産後の母親支援をママヘルプサービス

**質問** 多様化するライフスタイルや核家族化から産前

産後を親子だけで過ごす場合もあり、双方等世帯や遠方からの転入などからも、育児や家事の手伝いをしてくれるサービスがあると思う。村に適応する方法で産前産後のヘルプサービスを行う考えはないか。



検診に集まる母子（保健センター）



待望の赤ちゃん誕生に喜ぶ



▶赤ちゃん支援サポーター

**村長** 現在の家族の子育てのことを含めて必要性は感じている。この提言を受け棟東らしさを出したものができないか検討したい。



## 村の耐震強化対策は進んだか



**質問** 6月議会での学校施設の耐震化率の低さを指摘したが、その後の公共施設等の耐震強化対策についての実施状況はどうか。

**学校教育課長** 南小は耐震判断の手数料と二次診断に基づいての、耐震補強設計の業務委託料等が予算化された。北小は21年度に二次診断・耐震補強設計・22年度に耐震補強工事等を予定している。

**質問** 村では、それらを検討する耐震化の委員会等を設置したか。  
**建設課長** 10月21日に耐震

改修促進計画策定委員会を設置し、耐震改修促進法第5条第7項に基づき、想定される地震の規模や被害状況を踏まえて、基本計画を定める。耐震化の現状は本年の8月1日時点の調査結果で、住宅の耐震化は戸数5,274戸・耐震済み3,098戸で約58%。特定建築物の耐震化は総数58棟・耐震済みが44棟で約78%。村有建物は総数188棟・耐震済みが131棟で、これらに目標を定め平成27年度までに耐震化の促進を図りたい。

## 防災教育は実施されたか

**質問** 財源は国の耐震化事業で実質1割程度になるか。また、実施の優先順位はどうか。十分村民の意見を聞いて生活に支障のない

## 民間で福祉タクシーが始動

**質問** 4年の任期中に15項目の懸案事項を一般質問で取り上げてきたが、その中で一番多く村民の声があった、福祉タクシーが村民の中から稼働し始めたが、この利用状況はどうか。

**保健福祉課長** 11月より広馬場の方が「榛東福祉タクシー」を開設。11月末までの利用件数は、延べ12回・買物や通院・金融機関など、行き先は村内外とのこと。また、「ササエさん」は約

ように。なお、前回の質問以降防災教育は実施しているか。

**学校教育課長** 北小は10月・南小は9月・中学は11月に、地震発生に伴う火災を想定しての避難訓練等を実施している。

◀ササエさんの送迎



1年で延べ326回・村外へは前橋141人・吉岡84人・渋川63人・高崎21人の利用があった。

**質問** 念願の福祉タクシーだが、旧箕郷町のように高齢者や障害の有る方の初乗り運賃を2キロ610円分を支援。このような「福祉

◀民間の福祉タクシーを始めた広馬場の早川さん



タクシー補助券」などの予算を新年度に盛り込んではどうか。

**企画財政課長** 新年度予算に村内巡回バスの試行運転費用等を計上し、併せて補助金等の創設を検討したい。



▶福祉タクシーを個人で開業

# 残りの施工はどうなる



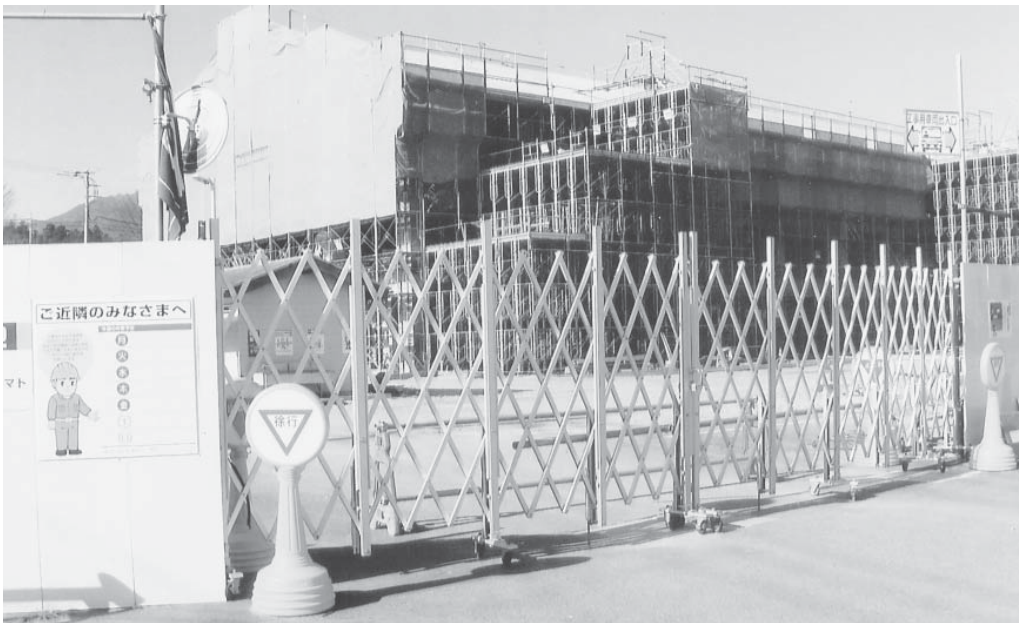
**質問** 新庁舎建設で井上工業の倒産から管財人との交渉の内容を今出せば次の業者との折衝に支障が有ると、管財人からも多分言われていたと思うが、いずれ発表する出来高とか金額の問題を年内中に、それとも年明けか分からないが、明確な発表はいつごろか。

**質問** 建物に劣化現象が起きその分の経費が上積みされる。村長は村民負担は一切無いと明言してるが、その真意のほどは。

**村長** 出来高に我々の主張が100%通り、違約金が出た、その後に入札を行なう工事終了まで金額の問題等は出せない。最終的には決算で議会の皆さんには数字を見てもらいたい。

## 新たな費用負担はないと言うが

徴収も懸命にやっている。議会の承認案件で、井上工業に9億9,000万円を渡したもので、それを土台に出来高を引いた残りを計算した上で新たな負担を行わない自信があると申しあげた。また、施設は管財人から11月20日村に移管され、安全管理のガードマンの依頼とか火災保険・周りのフェンス使用料・電気料を、新たに発注するまでの間、費用が必要になる。



▶工事中の新庁舎はどうなる

## 徴収ミスの金額はいくらか

**質問** 国税の徴収で電算の入力ミスがあり、12年前から全然分からなかった。村民から指摘されわかった。私は以前にこの種の質問をしたが、答弁ではこんな立派な電算処理はないし間違いない仕事をする。だが、電算処理に毎年・毎年お金を払うのに高い安いではなく、一人としてこの電算処理をチェックしなかった。最高のコンピューターと思ひ込み甘んじていたの



電算の入力ミスは検証がむずかしい

**質問** この答弁には納得できない。村の税金だから本会議に出さなければ意味がない。こんな過去の問題を引きずっていない方がよいのでは。

**村長** その通りだが、確認できなかった手落ちはお詫びしたい。だが、今交渉中の問題なので数字をもう少し待ってもらいたい。

## 議会の場でも検証できないのか

ではないか。12年間の内9年間に回収不能(9年分時効)の徴収漏れになった金額はどれ位になるのか、示してもらいたい。

**税務課長** 平成9年から平成17年までの賦課できない9年間の損害額は推計値として算出しているが、現在業務委託契約書に基づき電算会社と損害賠償請求の協議中で報告はできない。



# 豊かな景観は生かされるか



質問 榛名カントリーの跡地の活用について、6月議

果を見て将来の活用目標を  
検討したい。

企画財政課長 目標も方針も今は考えていない。早稲田大学の高等研究所の先生から榛名カントリー跡地の植生回復状況調査をしたいとの申し入れがあり、現在調査中で、その結



榛名カントリー・荒れ放題のゴルフ場跡地

## 農業振興は 図れるか

質問 村は今後の農業振興に対し、どのような方針や目標を持っているか。

産業振興課長 下仁田ネギのブランド化を村では農業振興のスタートと考えている。

質問 遊休農地だけでも29ヘクタールもあるのに、下仁田ネギのブランド化だけで振興が図れるとは考えにくい。遊休農地を活用して菜種の栽培や、その採油を行うのも一つの方法だが。産業振興課長 遊休農地を活用してくれる団体があれば協力してほしい。

## 村の道路整備は 進んでいるか

質問 道路整備の目標と年次計画は。

建設課長 現在、採択されている道路や農道整備は、防衛の民生安定事業など各種の事業資金を活用したり、国や県の事業は所轄の関係機関と調整しながら整

備を実施している。

質問 安全で安心な道路整備の振興はどうか。

建設課長 一般生活道路の中には、まだまだ危険箇所があつて歩道の段差解消や

## 美しい村づくりは 実現しつつあるか

質問 美しい村づくりのため

に住民生活課の方針は。住民生活課長 住民の皆さんからの連絡を受けた時は「直ぐ動く」を目標にし、



美しい村づくりのために

側溝に蓋など、バリアフリー化に配慮した整備をしたり、また、アスファルト舗装の老朽化した場所は再舗装し、今後も継続して行きたい。

また、ゴミステーションは5箇所・カラスよけネットを40枚・不法投棄防止看板を80枚配置している。

## 障害者の 福祉計画は

質問 6月議

会で障害者福祉計画を策定するとの説明があつたが、その後の進捗状況は。

保健福祉課長 21年度から23年度までの

期間を対象として「サービスの供給体制・相談支援・移動支援」などの事業を中心に策定しており、12月

下旬に第一回目の策定委員会を開催する。

## 図書館整備は できるのか

質問 多くの村民が図書館の整備を待ち焦がれているが、どうなる。

教育長 今の役場跡地利用計画審議会には検討項目に、生涯学習の拠点施設に図書館が入っている。その答申結果を踏まえて検討を進める予定としている。

## 役場職員への 村長の期待は

質問 「住民のニーズを聴きながら、自分で考え・自分で行動せよ」という村長の指導は職員へ浸透しているか。

村長 なんといいても住民が主役で、職員が住民ニーズを把握して「きらりと光る」事業など、あしたの榛東村へと「熱意・誠意・創意」の3つの「意」をもつてやってくれると期待したい。

## 無保険の子に配慮を欠く政策



**質問** 平成20年10月1日（国保証一斉交付日）現在、村全体で資格証明書世帯が55世帯、その内、子どもがいる3世帯は（乳幼児2・中学生1）無保険とのこと。本年10月30日付け厚生労働省の通知では「子どもがいる世帯の資格証明書発行については、きめ細かな対応が求められる。親が窓口で申し出をすれば速やかに健康保険証の交付に努めること」となっている。村長として、1月早々にこの3世帯に国保証を発行する意思があるか。

**村長** 厚生省の通知はあったが、それに見合う交付金は一切ない。国の方針には無理があると思う。3世帯については保険証を交付する意思はない。（1世帯目は村内に居住していない。2世帯目は医療にかかった時は全額支払うから保険料は納めない・3世帯目は一切意思表示しない）ということで、実態をみて交付したい。だが、今後も注意深く説得して行く。

## 県内でも資格証明は高い比率だが

**質問** 村での資格証明書発行が55世帯に減少したとはいえ、県内38市町村の中で

は、高い比率であり改善の必要がある。そこで資格証明書を発行しない特別な事情に関して、義務教育の子どもがいる世帯、一人親世帯の2項目を加える考えはないか。



**村長** 子どもについては現在、小学校6年生まで医療費を無料化しているし、4月からは義務教育すべての中学卒業まで無料にするので、保険証の有る・無いかかわらず差別なく無料とする。一人親世帯であつても所得が多い場合もあるの、審査してやるべきだと思つている。

## 介護保険の中身と保険料の軽減を

**質問** 平成21年4月から介護保険が第4期目に入ることに關して、低所得者への

**介護保険の中身と保険料の軽減を**  
保険料負担を軽減するため、より所得基準を細分化する考えはないか。  
**村長** 保険料の引き上げが必要かどうか。また、細分化等について、これから検討していく。

## 公平・公正な入札・契約制度の確立を

**質問** 公共工事が減少している中、村内業者がその経営力に応じて平等に契約に参加でき、不正が介入できない入札制度の今後につい

て伺いたい。  
**村長** 事業規模による一定の制限を設け、一般競争入札と指名競争入札のすみ分けをし、丸投げするような事態を防ぐ必要がある。電子入札も取り入れ村に合った制度にしたい。



4月から中学卒業まで医療費を無料化

**村長** その通りだ。10割支払ったその領収証を持って、後日役場の係窓口で、申請手続きをして返金を受け取ることになる。やむを得ないのではなにかと考えている。

## ピンクの福祉医療証も取り上げられ

**質問** たとえ子どもの医療費が無料であっても、保険証が無い世帯では、ピンクの福祉医療証も取り上げられるため、病院の窓口支払いが全額となる。保険料が払えない人が10割の医療費を窓口で支払うのは無理なことだが。



## 時間外勤務は改善されたか



**質問** 残業取得のあり方や経費額が多かったり職員の健康面等の改善をイントラ

ネット残業命令システムを構築し、改善したらどうかと議会で提案したが、今現在どんな方法で対応されているか。

**総務課長** システム

改善費が多額になるため導入していない。

今もペーパー作業で問題ないし経費の面でも得策だ。ただ、指摘されているタイムレコーダーの打刻をしていない職員がいるのも事実だ。課

長会議で指示事項として徹底を図りたい。

### タイムカードを押す職員



## 適正な職員配置が大事だが

**質問** 職員は100%力を出して勤務をしているが、一人ひとりの能力は、経験や勤続年数等により違いがある。新庁舎稼働を契機に



▶基地対策課を残したい

職員の健康管理・労務管理面からも、職員配置は大事だが、どんな理念で行うのか、また、職員の意見が反映されるのか。

**副村長** 適正な職員配置と言う中で、持っている力量を十分に発揮して頂くならば、残業はそんなに実施しなくても十分年間を通して業務運営は可能だ。適材適所という言葉通り、業務量に対して客観的・公平・相対的に評価し、必要な人材を配置することが、住民サービスの為に大事なことで、そこに不足が無いよう職員配置をして行くことが理想だ。さらに、村民サービスを貫徹するために十分職員組合や職員からも意見を聞き実施したい。

## 機構改革はどのよう

**質問** ヘリ旅団化に伴い、基地対策室を新設し、より効果的に防衛（民生安定）事業の遂行に当たってきた対策室を、企画財政課に編入との動きがあるが、国や県

に対して基地所在村としてのインパクト・イメージがひ弱になり、施策の構築や財源確保に支障はでないか。

**村長** この問題を上程するにはまだ検討の余地があるので、議会とも話し合いをし、3月議会に提案したい。

## 建築指名業者の選定基準は

**質問** 広馬場地区汚水処理施設の建築工事指名業者選定基準は。また、県や他の市町村は、19年9月30日付けの審査結果を採用しているが、村はなぜそれより6ヶ月前の経営事項審査結果を採用しているのか。

**副村長** 今回の工事については、19年度に建設工事入札参加の資格審査申請書を基に、経営事項審査・総合評定数値700点以上をAランクとし、選定を行ったもの。

**総務課長** 国土交通省でも、20年用を18年10月5日付けを参考に使用しているから。



広馬場農集処理場起工式